

關係の、言ひたことは間違つてゐるならばどううのだ」（「4・23『オルフェの声』」「勞者ブルーブ」）彼らはもとつとつてゐる。オルフェの歌闘争は名詞コラボードで軍事的争いでもない、さらにその非公然的氣氛が持てたかも知れない。我々の連絡争とオルフェの公然暴力争が何の連絡なく少くとも権力からもう見られてゐることこのことかが。公然部隊は本來自身としてもオルフェは会つてゐない。また会う必要もないのです。これが本來の美だ。70年代權力闘争の実態をからむらぬ、知つていてものなら本來真正錯の挑戦だ。権力に亘つた大迷論。この屁理屈を勝訴するのに、だけ残る。この方オルフェと云ふ彼らは、たゞ一方のだらうか。運営ナルフアタの「方オルフェ」とども虚轍にあわふためさ。次のように言ふ。「彼らはなんにもつてない。セント問違しない。」いわゆる「いかなるる結果」だ。たゞ一方のだらうか。運営ナルフアたと見えたかったら、せめに文章は途絶えだ。ときには細心の注意を払つてもだ。こんななことは非公然活動の初步ではなかのわ。なぜなら、1センと点掉してしまつた。さて本題でもどろり。この短い引用の中多くがモルフの暴露然としている。自分の活動を1センと点掉してしまつたのがなぜか。モルフは、そのデマゴギ政治と武装解除のすみの所乗化された強制力を批評する。そこはねらならぬ、「一方でオルフェは皇室を説教主とする」と組合せた「皇室」のテクをたれ流し、「井井然哉我は井井然哉我の言ひことは間違つてゐるならばどううのだ」（「4・23『オルフェの声』」「勞者ブルーブ」）彼らはもとつとつてゐる。オルフェの歌闘争は名詞コラボードで軍事的争いでもない、さらにその非公然的氣氛が持てたかも知れない。我々の連絡争とオルフェの公然暴力争が何の連絡なく少くとも権力からもう見られてゐることこのことかが。公然部隊は本來自身としてもオルフェは会つてゐない。また会う必要もないのです。これが本來の美だ。70年代權力闘争の実態をからむらぬ、知つていてものなら本來真正錯の挑戦だ。権力に亘つた大迷論。この屁理屈を勝訴するのに、だけ残る。この方オルフェと云ふ彼らは、たゞ一方のだらうか。運営ナルフアタの「方オルフェ」とども虚轍にあわふためさ。次のように言ふ。「彼らはなんにもつてない。セント問違しない。」いわゆる「いかなるる結果」だ。たゞ一方のだらうか。運営ナルフアたと見えたかったら、せめに文章は途絶えだ。ときには細心の注意を払つてもだ。こんななことは非公然活動の初步ではなかのわ。なぜなら、1センと点掉してしまつた。

以上、二点にわたる「遠方リオルエー」の口汚い中傷
廣告事」という、吾が同志の口汚い中傷
敵が如何にしてタラメなしものであるかを明白に示す
を暴露してきた。つまり、彼らの「非公然活動」
なるものは、その実際の行動からいへば
政治目的から、クソマキの元凶である。
山本から外らさせ、労働者革命的成長を
阻害するものでしかないのである。したがつ
て彼らの「非公然活動」の本質と、それを
明らかにすることは「密告」ところか、革
命的右翼の行うべき任務であり貴務である。
ところが、遠方リオルエーは、自ら「遙方
から」四号では、「米漢地区」の「新進
若い若君」と「共闘」したと自慢げに公言し、
プロレタリアートの利益を荒らめ小ブルフ
アシストへの純化をとげていることを明らか
にして、統一と团结を固く守り最終勝利に
むけて奮闘してはいるのか。我が同胞これ
れからさらに別擧を、を持ち出したり、また
本山は何の關係もないかもかわらず、密
だけはする、うよううな者共以外の人々
に対しては必ずしも信頼を強めるつよいである。
」（五月五日アビール）

「ゆきがかるを「捨て」だつて」（この連中
は、それまで「資本の先」、「走銀郎」
呼び、「無別闇闘」の対象と認可していた
人々と「さうした信頼を強め」たりするらし
、「このコベルニクスの船員も、彼らの御都

日米防衛協粉碎、坂田訪米阻止 6・12共産主義革命戦線総決起集会

P
M
8

P
M
6

6·15侵略反革命阻止全国政治共闘結成集会

5・30—31仙台現地に総結集し、本山資本を打倒せよ！

開闢争は、勝利に向つての新たな試練は、されてゐる。この新たな試練は、まで支部一支援に結集する全国の者が巻き上げてきた地平を一步たどることなく、更にその苦闘の教訓をしつらへし、總括しおくことを要求していゝ。我々は本山闘争のこの間の苦闘

を一部諸君の如く、「後退局面」と呼ぶことは、われに見て、本山のそれを労働者たる強が、絶対に守らざる所である。そこでそれはまた、教育社、ヤンカ相模原等全国の革命的労働者の舌撻でもある「プロレタリアートの窮屈」へ至る試験として、自らの階級的資本をかけて真正面から引き受けるのではなく、客

「別様就労」という資本への屈服と言ひ詰めてしまはない。かかる部分に言ふべきではない。かかる部分に言ふべきではない。かかる部分に言ふべきではない。かかる部分に言ふべきではない。

